

経営比較分析表（平成29年度決算）

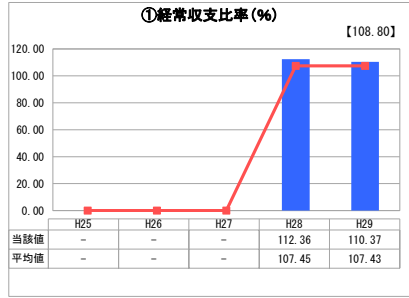
神奈川県 平塚市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	64.75	97.47	87.50	1,998

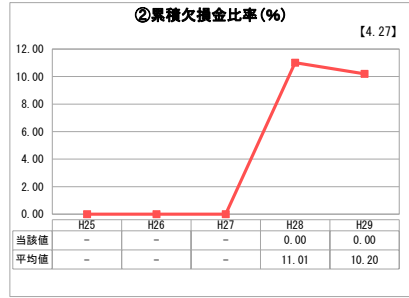
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
257,615	67.82	3,798.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
250,700	34.95	7,173.10

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

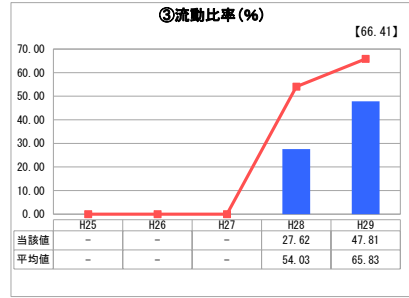
1. 経営の健全性・効率性



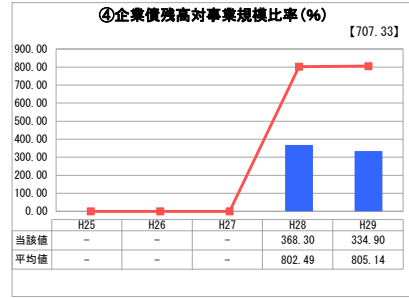
「経常損益」



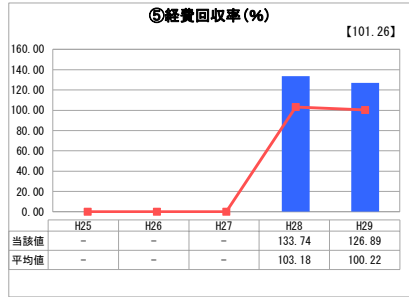
「累積欠損」



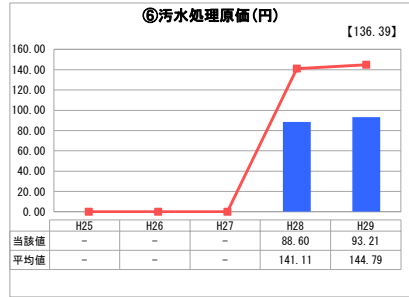
「支払能力」



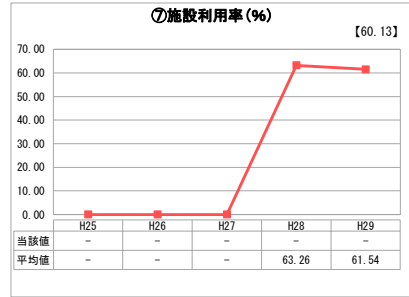
「債務残高」



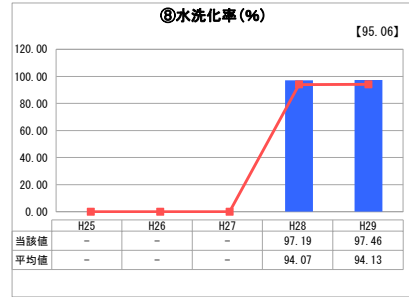
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

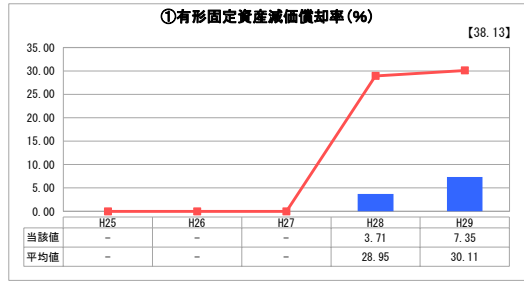


「施設の効率性」

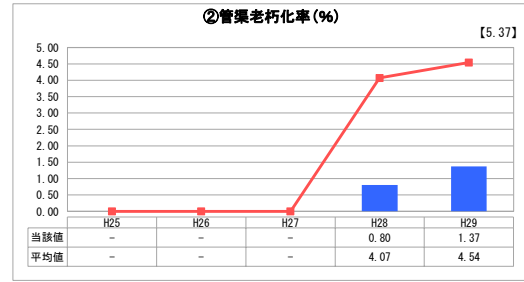


「使用料対象の捕捉」

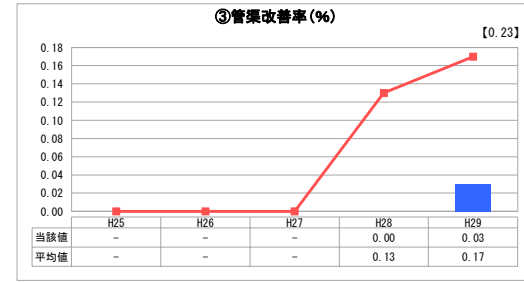
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を超え、全国平均及び類似団体平均を上回っています。
 ③流動比率は20ポイント以上の改善がありました。全国平均及び類似団体平均を下回っているため、課題であると捉えています。
 ④企業債残高対事業規模比率は、企業債の計画的な償還により低減しています。
 ⑤経費回収率は100%を超え、全国平均及び類似団体平均を上回り、⑥汚水処理原価も全国平均及び類似団体平均を下回っていることから、現水準の維持を図りたいと考えていますが、施設の老朽化等による維持管理費の増加や人口減少が見込まれるため、引き続き、コストの縮減に向けた取組を進めてまいります。
 ⑧水洗化率は97.46%と高い水準にあります。引き続き、未接続世帯に対する接続促進の取組を実施してまいります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び②管渠老朽化率については、法適用間もないため、全国平均及び類似団体平均を大きく下回っていますが、公共下水道事業の供用開始が昭和48年度であり、耐用年数を経過した管渠もあることから、実際には施設の老朽化は進んでいるものと思われるため、③管渠改善率の分析とともに、計画的な施設の改築更新を進めていく必要があります。

全体総括

各指標により、現時点では、経営の健全性は保たれていると考えられます。
 一方で、今後見込まれる下水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、一層の経営努力が必要とされるため、経営戦略の策定により、下水道サービスの持続的・安定的な提供に努めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。